

第7回SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ（IPSI）定例会合
公開フォーラム

SATOYAMAイニシアティブの生物多様性愛知目標及び 持続可能な開発目標（SDGs）への貢献

2018年9月30日（日） 14:30-17:45

石川県金沢市 金沢ニューグランドホテル 金扇

主催：IPSI事務局（国連大学サステナビリティ高等研究所）、環境省

共催：石川県

言語：英語（日英同時通訳あり）

2010年に愛知県名古屋市で開催された第10回生物多様性条約締約国会議の機会に、「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ（IPSI）」が設立されました。IPSIは、日本の里山のように世界に存在する人と自然の相互作用によって維持されている環境の保全に取り組む世界中の団体が協力し合うパートナーシップです。設立当初51団体からスタートしたIPSIは、8年経った現在、メンバー数は230団体に増加し、数々の協力活動などが実施されてきました。

IPSIでは、SATOYAMAイニシアティブの普及や参加者間の経験共有の促進、メンバー同士及び関係団体との連携・協力を目的に、定期的に公開フォーラムを開催しています。2013年に福井県で開催して以降、韓国とカンボジアで開催し、今回5年ぶりに日本で開催いたします。

今回で第7回目となる公開フォーラムでは、生物多様性に関する国際的な目標である愛知目標と持続可能な開発目標（SDGs）への貢献をテーマに、IPSIメンバーの事例を通じて、SATOYAMAイニシアティブがこれらの目標にどのように貢献してきたか、また、愛知目標の目標年である2020年以降の方向性について、会場の皆様と考えていきます。

プログラム

14:30-

挨拶

竹本 和彦 国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）所長
正田 寛 環境省自然環境局長
谷本 正憲 石川県知事（代読 吉住 秀夫 石川県企画振興部長）

14:45-

基調講演

SATOYAMAイニシアティブの生物多様性愛知目標及び持続可能な開発目標（SDGs）への貢献

武内 和彦

（UNU-IAS上級客員教授、東京大学サステナビリティ学連携研究機構長、公益財団法人 地球環境戦略研究機関理事長）

15:05-

生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム（IPBES）地球規模アセスメントの概要

エドワルド・ブロンディジオ

（インディアナ大学教授、生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム（IPBES）地球規模アセスメントレポート共同議長）

15:35-

休憩

15:55-

パネルセッション

マルチスケール・シナリオ分析から見る今後の自然環境

サイモン・フェリエール

（オーストラリア連邦科学産業研究機構上級首席研究員、オーストラリア国立大学教授、国連環境計画世界保全モニタリングセンターフェロー）

16:10-

SATOYAMAイニシアティブ推進プログラム（COMDEKS）：コミュニティの活動による愛知目標への貢献

渡辺 陽子

（国連開発計画（UNDP）グローバル・マネージャー）

16:25-

SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークの取組

佐々木 真二郎

（SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク事務局、福井県 安全環境部 自然環境課長）

宮原 義則

（生物多様性 びわ湖ネットワーク、積水樹脂株式会社 生産技術部 品質管理グループ長）

16:45-

里山の持続可能な保全を目指した珠洲市における取組み

宇都宮 大輔

（珠洲市自然共生室 自然共生研究員、金沢大学環日本海域環境研究センター 連携研究員）

17:00-

パネル・ディスカッション

モデレーター：瀧口 博明

（国連大学サステナビリティ高等研究所プロジェクト・ディレクター、IPSI事務局長）

17:45

閉会